



みみだより No.33

鳥取聾学校ひまわり分校 聴能担当 R4.3.8

文責：松本

新型コロナ感染拡大は収まりませんが、春らしい日差しにほっとする時もありますね。

この1年間の子どもの成長に驚かされる日々です。さらに、子ども達が心たくましく、自分に自信をもって過ごしてほしい願いを込めて「障がい認識」について取り上げます。



子どもが障がいに気づくとき

難聴児は どんなことで 困るのか？～豊かな心とことばを育むために～

木島照夫・菅原仙子・岡野敦子編著 より(難聴児支援教材研究会)

* 障がい認識のはじまり *

子どもたちは、早くて幼稚園(部)の年中から年長頃に、遅くても小学生の時期に「どうして私(ぼく)はきこえないの?」と、親に障がいについてたずねる時期があります。その時に、どのような思いで親にその質問を投げかけてくるのか、その時の子どもの心の状態を察しながら、耳を傾けられるとよいのではないのでしょうか。



* 子どもの疑問にどう答えればよいか? *



では、子どもから障がいについてきかれた時に、親はどうすればいいのでしょうか。多くの親御さんは動揺し、感情的になってしまい、泣いて謝ってしまったという人はけっこう多いようです。子どもは、決して謝られる自分を素晴らしい存在と受けとめることはできないのではないのでしょうか。(略) きこえない・きこえにくいわが子に対して、「ありのままのあなたが好き」というメッセージを送ることが大切であることを覚えておいていただきたいと思います。子どもに障がいについてきかれたらこう子どもに語って

てください。「あなたの耳がきこえないのは、誰にもわからないことなのよ。世の中には、目の見えない人、車椅子に乗っている人・・・というようにいろいろな人がいるのよ。いろいろな人がいる中に、あなたも、そしてお母さんもいるのよ。」とありのままの事実を、穏やかにかつ冷静に子どもに話してあげてほしいと思います。事実を事実として認める揺るぎない思いを精一杯の愛情と共に。



ワンポイント手話



「YouTube」

「新しい手話2014」より

補聴器・人工内耳 汗カバー

手話普及支援コーディネーターの土岐先生が、汗カバーを作成!! 「作り方を知りたい」「こんなの欲しい」等ありましたら、支援部に声をかけてください。



こんなことはありませんか?

ガッツホルダーのゴムが動くことはありませんか。使用している汗カバーに後付けでループをつくり、ホルダーの先にフックをつけて留めてみられてはどうか?

